

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取商業高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成	提出日	令和4年4月29日
------	--------------	-----	-----------

1 学校目標
地域の産業経済界をリードし活躍する人材の育成
2 重点項目に係る目標
(1) 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける。 (2) ビジネス社会及びグローバル社会に必要な力を身につける。 <数値目標> (1) <u>全商検定1級3種目以上取得者60%以上(3年卒業時)</u> 全商(全国商業高等学校協会)が主催する検定試験(全9種目)の1級取得に向けた、専門人材育成に係る学習の成果指標。検定合格には各専門領域の知識だけでなく、文章読解力、思考力、計算力、語学力等の総合的な学力が求められる。 (2) <u>鳥商デパート売上1300万円以上、来場者数1万人以上、お客様満足度95%以上</u> 生徒自身が企画、仕入れ、販売、決算等のすべてを行う鳥商教育の集大成。地域社会の信頼・信用に支えられて、令和4年度は第29回を開催予定。昨年度は、来場者を保護者・家族に限定したため、売り上げは、約530万円、来場者は約1,500人とどまったが、今年度は通常通りの開催ができることを期待したい。
3 事業計画(事業名、事業概要)
【独自事業】 1 <u>専門教育におけるリーダー育成とネットワーク構築事業</u> (1) 実施時期：通年 (2) 対象：本校教員 (3) 目的：①全国商業高等学校協会が主催する商業教育講習会等へ本校教員が参加し、授業実践に関する最新の情報と方法を学ぶことをとおして、教科指導力を向上させる。 ②講習会等に参加する県外商業高校の教員とのネットワークを構築し、授業改善に関する継続した情報交換や研修に積極的に取り組む。 ③最新の情報に基づく授業実践を行い、生徒の意欲と学力の向上を図る。 (4) 内容：講習会等へ参加した教員が、専門分野に関する最新の情報と指導方法を用いた公開授業等を実施したり、授業研究会の講師を務めたりすること等をおして指導法を他の教員にも伝達することで、学校全体の指導力の向上を図り、専門教科における生徒の学力向上につなげる。 2 <u>グローバルビジネス推進事業</u> (1) 実施時期：通年

(様式1)

(2) 対象：本校教員・留学生交流会参加希望生徒

(3) 目的：①大学留学生との交流をとおして、他国の文化、歴史、生活等に触れることでその国についての理解を深めるとともに、グローバル社会への関心を高める。また、他国のビジネス等の現状についても知ることで、グローバル感覚豊かな職業人としての資質を養う。

②国際交流に取り組んでいる先進校を視察して学び、国際的視野を有する生徒を育成するための指導力を高める。

③英語でコミュニケーションをとることで、英語学習への意欲も高める。

(4) 内容：①近隣の県外先進校の視察や意見交換をとおして、学校設定科目「グローバルビジネス」やその他の活動で生徒のグローバル感覚を高めることができるよう、教員の指導力を養う。

②社会問題について留学生と意見交換をすることで、世界で起きている諸問題を生徒が自分にも関わる問題としてとらえ、生徒の国際的視野と複眼的思考力を育成するとともに、英語力向上と、それに向けた英語学習の必要性も理解させる。

3 鳥商デパート

(1) 実施時期：12月3日(土)4日(日)

(2) 対象：全学年生徒(運営主体は3年生全員)

(3) 目的：①3年間を通じた学習成果を発表する機会を創出する。

②売上・来客者数の増加、サービスの質向上のための方策について生徒同士がアイデアを出し、協働することにより、ビジネス社会に必要な企画力・実行力・協調性を養う。

③県民に広く、本校の活動や生徒の様子を認知してもらう場とする。

④全国の商業高校との連携を進めるとともに、近隣の保育所・幼稚園等との異校種間連携も進める。

(4) 内容：本校施設(大体育館、小体育館、屋外施設)を会場に約15の店舗を設営し、「企画→仕入れ→販売→決算→次回への引継ぎ」(PDCAサイクル)等の一連の活動すべてを、生徒が主体的に行う鳥商教育の集大成。東部地区の小中学生の参加(希望者を各店舗に配属するなど)や近隣保育所園児による演技披露も予定している。

※枚数任意